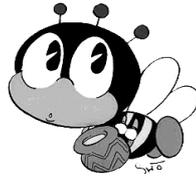


平成28年度

事業報告書



「マナビィ」
生涯学習マスコットマーク



石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は じ め に

新緑が目にもぶしい季節になりましたが、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このほど平成28年度事業報告書を作成しましたのでお届けいたします。ご高覧いただければ幸いです。

さて、昨年3月に策定された「第2期石川の教育振興基本計画」では「生涯にわたり学び続ける環境づくりの推進」を基本目標の一つとして掲げ、具体的な取組として「多様な学習ニーズに応える講座の充実」「全世代を通じた学びの機会の充実」を図るとしております。

主要事業である「石川県民大学校」では、昨年度当センターが創立50周年の節目の年を迎えたこともあり、156の実施機関において過去最多となる1,212の講座を開講し、修了生は大学校・大学院を併せて717名となりました。今後も、現代的な課題など新しいテーマの設定や、実演、ワークショップなどの参加型学習など講座内容の充実を図るとともに、テレビ、ラジオ、インターネット（「あいあいネット」）、「いしかわマナビィめーる」などの多様なメディアを通じて、最新の役に立つ生涯学習に関する情報の提供に努めてまいります。

また当センターでは、学んだ成果を社会に還元できるよう「あすなる悠々塾」、地域を活性化するための人材育成をめざす「ファシリテーター養成講座」、若年層も含めて生涯学習に関心が持てるよう「ファミリー・カレッジ in 本多の森」など様々なプログラムを展開しております。

さらに「ふるさとモット学び塾」においては幅広い年齢層の方々が本県の文化や歴史、自然等に知識理解を深めることができるよう、「ふるさとふれあい講座」「ふるさと発見出前講座」、能登校で実施されます「ふるさとふれあい能登校講座」をより魅力あるものへと工夫、改善してまいります。

加えて「まなびすとルーム」では、マナビィコーナーにおける県民の皆様の作品展示など生涯学習の成果発表、DVD・16ミリフィルムの貸し出し、さらに生涯学習に関するご相談や情報提供を行い県民の生きがいつくりの応援ができるような行政サービスを進めてまいります。

終わりに、当センターの事業実施にあたり、ご尽力いただきました関係機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成29年5月

石川県立生涯学習センター
館長 平 聖 一 郎

目 次

I 生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ	3
(2) 石川県民大学校の入学状況	4
(3) 創立50周年記念式典、石川県民大学校・大学院修了証書交付式、記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(6) 石川県民大学校の推移	9
2 講座事業	
(1) ふるさとふれあい講座	11
(2) ふるさとふれあい現地講座	12
(3) ふるさと発見出前講座	13
(4) あすなる悠々塾	15
(5) あすなる悠々塾講師養成研修	17
(6) 人権講演会	18
(7) スペシャル講演会	19
(8) ファミリー・カレッジin本多の森	20
(9) 兼六ビデオ講座	21
(10) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～	23
(11) 本多の森映画会	24
(12) 夏休み子ども映画会	25
(13) 本多の森キッズシアター	26
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	27
(2) まなびすとルーム	28
(3) 視聴覚ライブラリー	28
(4) 16ミリ映画教材提供	29
(5) 生涯学習センターだより(館報)	30
(6) 県民企画展示マナビィコーナー	31
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	32
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	33
(3) ファシリテーター養成講座	34
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	35
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	36
5 マナビィフェアin本多の森	
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	38
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	39
(3) 社会教育主事等フォローアップ研修	40
(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会	42
(5) 視聴覚セミナー	43
(6) 県民映像カレッジ	43
(7) ICT活用講座	44
(8) いしかわビデオ作品コンクール	45
(9) 視聴覚いしかわ(会報)	46
(10) 自主サークル	46
II 生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) ふるさとふれあい能登校講座	47
(2) 能登文化講座	47
(3) 能登の歴史探訪講座	48
(4) 古文書解読講座	48
(5) 能登陶芸教室	49
(6) あすなる悠々塾in能登	49
(7) 能登特別映画会	50
(8) ふるさと文化探究講座	50
(9) 夏休み子ども特別映画会	51
(10) 夏休み子ども陶芸教室	51
(11) 夏休み子ども科学教室	52
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) 男の料理教室	53
(2) 大人の料理教室	53
(3) サンドブラスト体験教室	54
3 能登分室利用状況	
III 調査研究レポート	
「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」について	56

I 生涯学習センター

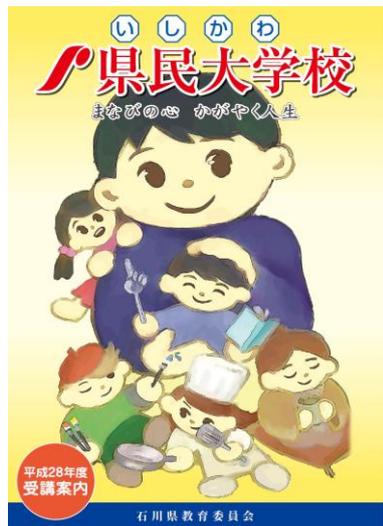
1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ

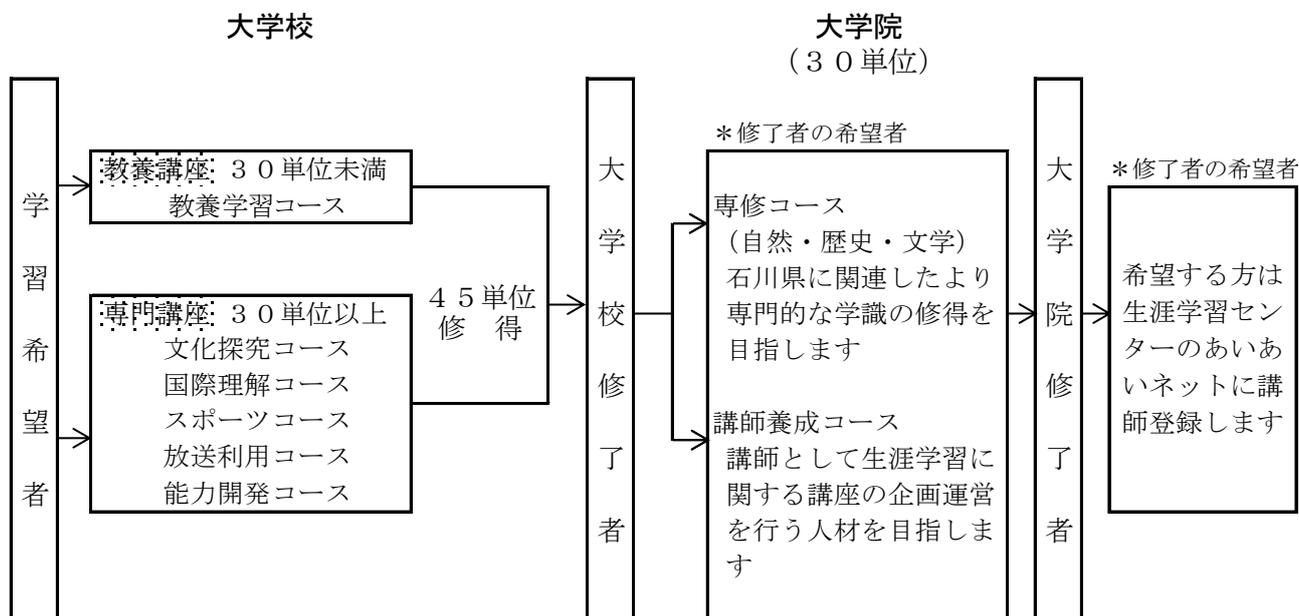
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

・講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 7年	331 (111)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 8年	325 (107)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 9年	332 (117)		
平成10年	330 (126)		
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



○石川県民大学校入学から修了までのしくみ



(2)石川県民大学校の入校状況(平成28年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養	教養学習	1,178	9,893
専門講座	文化探究	7	230
	国際理解	12	135
	スポーツ・生活	5	20
	産業・情報	0	0
	能力開発	3	205
	放送利用	3	21
	計	30	611
大学院	専修自然・歴史・文学	3	32
	講師養成	1	9
合計		1,212	10,545

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	1.1%
小松市・能美市・能美郡	3.8%
白山市・野々市市	11.9%
金沢市	56.0%
かほく市・河北郡	3.3%
羽咋市・羽咋郡	2.7%
七尾市・鹿島郡	3.0%
輪島市・鳳珠郡	10.4%
珠洲市	2.7%
不明・県外	5.0%
合計	100

表3 年齢・男女別入校者割合

年齢	男(%)	女(%)	合計(%)
19歳以下	6.0%	10.4%	16.4%
20歳～29歳	0.5%	0.7%	1.3%
30歳～39歳	1.1%	3.0%	4.1%
40歳～49歳	2.2%	6.8%	9.0%
50歳～59歳	2.1%	4.7%	6.8%
60歳～69歳	8.1%	13.0%	21.0%
70歳～79歳	10.2%	10.0%	20.2%
80歳以上	3.0%	2.7%	5.7%
不明	6.0%	9.5%	15.5%
合計	39.2%	60.8%	100%

(3)石川県立生涯学習センター創立50周年記念式典、石川県民大学校・大学院修了証書交付式、記念講演会

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

対象・参加者

平成27年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 226名

会 場

本多の森庁舎第2会議室

期 日

平成28年6月12日(日) 13:00~15:25

日 程

13:00~13:30	創立50周年記念式典 石川県立生涯学習センター創立50周年記念式典が、石川県知事 谷本正憲 石川県民大学校学長、石川県議会議長 宮下正博氏、市町教育長会会長 野口弘氏等来賓の臨席のもと行われた。
13:40~14:00	修了証書交付式 平成27年度修了生635名のうち79名（大学校67名、大学院12名）の方に、学長の谷本正憲石川県知事から修了証書が交付された。
14:15~15:25	記念講演 「いつまでも老いない脳をつくる10の生活習慣」と題して、同志社大学特別客員教授 石浦章一 氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

今年度は、石川県立生涯学習センター創立50周年にあたり、例年行われている石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演に加え、石川県立生涯学習センター創立50周年記念式典も併せて行われた。

周年記念式典の資料について過去に遡って状況を明らかにすることが求められるので、過去の資料の保存に十分留意する必要がある。

記念講演では、石川県社会教育協会と共催で石川県出身で同志社大学特別客員教授石浦章一氏を講師に招いて行われた。健康に関する内容について具体的な事例を提示ながら分かりやすく説明していただいたので受講生にも大変好評であった。

(4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

平成28年5月30日(月)～平成29年1月21日(土)

会 場

本多の森庁舎会議室

定 員

講師養成コース 15名
専修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月30日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「室生犀星は非常時をどのように書き継いだか」	金沢大学准教授 鈴木 暁世	20人
2	6月1日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「本多政重登用から見る加賀藩」	高岡法科大学准教授 本多 俊彦	30人
3	6月3日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「生物多様性と子ども」	石川県立大学名誉教授 上田 哲行	10人
4	6月12日(日) 13:30～15:30	記念講演「いつまでも老いない脳をつくる10の生活習慣」(石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	同志社大学特別客員教授 石浦 章一	226人
5	6月13日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「時代に抗した作家たち-中野重治(四高)と鶴彬(かほく)-」	金沢大学准教授 飯島 洋	33人
6	6月17日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「奈良時代の加賀郡大野郷畝田村を考える」	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	38人
7	6月24日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「1枚の葉から森の遷移を知る」	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	16人
8	6月27日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「物語論で読む泉鏡花-『海神別荘』をめぐる』」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	20人
9	6月29日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「前田犬千代丸将軍世子擁立一件-祖母お美代の方の栄光と挫折-」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	31人
10	7月1日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「元素の話 パート2」	金沢大学非常勤講師 乗富 政雄	15人
11	7月4日(月) 13:30～15:30	専修コース・講師養成コース 「論文作成講座」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	24人
12	7月5日(火) 10:00～12:00	専修コース文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	4人
13	7月5日(火) 13:30～15:30	専修コース歴史 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	11人
14	7月6日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	8人
15	7月8日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 水野 昭憲 他	5人

番号	日時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
16	7月13日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	6人
17	7月20日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「チラシの魅せ方2」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	8人
18	7月28日(木) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	7人
19	9月23日(金)	専修コース自然 試論指導	論文指導講師	1人
20	9月26日(月)	専修コース歴史・文学 試論指導	論文指導講師	2人
21	9月27日(火)	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	5人
22	9月28日(水)	専修コース自然・歴史・文学 試論指導	論文指導講師	6人
23	9月29日(木)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	2人
24	9月30日(金)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	2人
25	10月3日(月)	専修コース文学 論文指導	論文指導講師	2人
26	10月19日(水) 13:30～15:00	講師養成コース 企画書作成指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	6人
27	10月21日(金)	専修コース自然 論文指導	論文指導講師	1人
28	10月24日(月)	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	1人
29	10月25日(火)	専修コース歴史・文学 論文指導	論文指導講師	2人
30	10月27日(木)	専修コース歴史・文学 論文指導	論文指導講師	4人
31	10月28日(金)	専修コース自然・歴史 論文指導	論文指導講師	7人
32	10月31日(月)	専修コース文学 論文指導	論文指導講師	4人
32	11月30日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表会	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	12人
33	1月21日(土) 13:30～15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「中世の星の信仰 -北斗と妙見-」	金沢大学教授 平瀬 直樹	60人
合 計				629人

※1～10及び33の講座については、一般の方に開放している講座。

事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文等の指導により、修了生のべ27名の研究成果を「石川の博士論文集」としてまとめることができた。

大学院については、継続受講者が多い一方で、新規の受講者数が少ない傾向にあり、大学の修了生に対し、大学院への挑戦をはたらきかけていきたい。

また、一般の方への「開放講座」としている専修コースの基本講座については、より積極的な広報に努め、受講者数の拡大を図りたい。

(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演をとおして県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

平成29年1月21日(土) 13:30~15:40

会 場

本多の森庁舎会議室

対象・参加者

平成28年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 60名

日 程

13:30~14:30	論文発表 ①「片付けをデザインする(住まい・身の回りの片付け術)」 講師養成コース代表 小坂 宗義 ②「台湾で“白冷圳の父”と敬われている磯田謙雄(金沢出身)について」 専修コース歴史代表 谷口 和男 ③「金沢城公園の自然について ~金沢城本丸跡(旧植物園)~」 専修コース自然代表 瀧川 克幸 ④「西田幾多郎と鈴木大拙 思想家の読書 ~読書は人物を作り、新しい文化を創造する~」 専修コース文学代表 本吉 哲夫
14:40~15:40	記念講演 「中世の星の信仰 -北斗と妙見-」 金沢大学教授 平瀬 直樹

事業の評価(成果・課題)

今年度大学院を修了した4名による発表はよくまとまっていた。今回の論文発表会では、一部の大学院受講者から、他の受講者がどのような論文を書いているのかを知りたいとの要望があり、受講者の論文のテーマと概要を一覧にして配付した。記念講演では、室町時代の武家や庶民が北斗七星や北極星(妙見)を信仰していたことが紹介され、星の信仰が社会でどのように機能していたかを解説いただいたが、活発な質疑応答があるなど、受講者の関心の高さがうかがえた。

(6) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
大 学 校	教 養 講 座 計	903	983	1,019	1,050	1,099	1,154	1,178
	文化探究コース	9	9	8	7	6	7	7
	国際理解コース	11	12	12	12	12	12	12
	スポーツ・生活コース	9	4	4	4	4	4	5
	産業・情報コース	2	1	1	0	0	0	0
	能力開発コース	3	5	3	4	4	2	3
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	37	34	31	30	29	28	30
大 学 校 計	940	1,017	1,050	1,080	1,128	1,182	1,208	
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		944	1,021	1,054	1,084	1,132	1,186	1,212

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	4	3	5	3	2	2	2
	講 座 数	54	52	39	60	35	43	40
知事部局等	機 関 数	31	31	30	33	30	22	21
	講 座 数	166	185	187	191	206	181	182
県立学校	機 関 数	54	52	52	34	22	12	10
	講 座 数	55	53	52	35	26	13	11
県 教 委	機 関 数	12	12	12	12	12	12	12
	講 座 数	163	178	186	206	212	215	223
県 機 関 計	機 関 数	97	95	94	79	64	46	43
	講 座 数	384	416	425	432	444	409	416
市町村教委	機 関 数	34	37	50	58	65	41	41
	講 座 数	127	154	202	230	274	151	165
各 種 法 人	機 関 数	38	38	41	41	44	53	53
	講 座 数	238	272	260	246	260	476	478
各 種 団 体	機 関 数	24	19	19	20	18	17	17
	講 座 数	141	127	128	116	119	107	113
合 計	機 関 数	197	192	209	201	193	159	156
	講 座 数	944	1,021	1,054	1,084	1,132	1,186	1,212

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
大 学 校	○教養講座 計	7,255	6,970	7,279	6,859	8,700	8,774	9,893	108,846
	文化探究コース	294	299	347	209	111	239	230	12,637
	国際理解コース	121	167	172	179	133	146	135	8,884
	スポーツ・生活コース	20	0	0	33	9	0	20	8,152
	産業・情報コース	8	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	61	123	78	172	202	146	205	7,502
	放送利用コース	0	4	2	1	7	14	21	1,492
	○専門講座 計	504	593	599	594	462	545	611	43,149
大 学 院	専修コース	71	86	77	57	37	44	32	1,682
	講師養成コース	17	15	10	14	6	4	9	388
	○石川の博士養成講座 計	88	101	87	71	43	48	41	2,070
合 計		7,847	7,664	7,965	7,524	9,205	9,367	10,545	154,065

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(平成29年3月末現在)

(単位：人)

年 度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
大 学 校	○教養講座 計	204	262	260	197	308	232	261	3,502
	文化探究コース	184	203	190	264	111	187	184	4,725
	国際理解コース	64	42	90	90	71	88	83	2,124
	スポーツ・生活コース	7	1	0	33	9	0	20	1,801
	産業・情報コース	8	7	2	0	0	0	0	641
	能力開発コース	63	20	26	0	35	128	140	3,899
	放送利用コース	1	2	2	1	0	0	2	47
	○専門講座 計 (コース重複)	326 (1)	275 (0)	310 (0)	388 (0)	226 (0)	403 (1)	429 (0)	12,645 (593)
大 学 院	専修コース	26	25	25	30	23	19	21	522
	講師養成コース	5	5	2	5	3	2	6	167
	○石川の博士養成講座 計	31	30	27	35	26	21	27	689
合 計		561	567	597	620	560	656	717	16,836

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(平成28年度修了生の内訳)

(単位：人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大 学 校	男 性(人)	6	3	3	3	7	88	105	31	33	279
	女 性(人)	14	1	9	20	31	128	99	17	92	411
大 学 院	男 性(人)	0	0	1	0	1	10	6	4	0	22
	女 性(人)	0	0	0	0	1	3	0	1	0	5
合 計	人 数(人)	20	4	13	23	40	229	210	53	125	717
	割 合(%)	2.8	0.6	1.8	3.2	5.6	31.9	29.3	7.4	17.4	100

2 講座事業

(1) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした講座を実施する。本多の森庁舎を会場に行う10回の講座を実施する。

対象・定員

一般 130名

会 場

本多の森庁舎 第一会議室

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	7月2日(土) 13:30~15:00	金沢の和菓子魅力を伝える	落雁諸江屋主人 諸江 吉太郎	185人
2	7月29日(金) 13:30~15:00	人生儀礼のしきたり	民俗学者 小林 忠雄	145人
3	8月20日(土) 13:30~15:00	海外からのお客様とおもてなし	(株)浅田屋代表取締役社長 浅田 久太	139人
4	8月27日(土) 13:30~15:00	～能登から世界へ～ ジェラートで世界を切り拓く	(株)マルガー代表取締役 柴野 大造	141人
5	9月2日(金) 13:30~15:00	加賀毛針の歴史 ～縫い針から毛針への変換～	(株)目細八郎兵衛商店代表取締役 目細 勇治	141人
6	9月24日(土) 13:30~15:00	「金沢の料亭」と加賀料理	金澤町家料亭壽屋代表取締役社長 山縣 秀行	131人
7	10月16日(日) 13:30~15:00	金沢城下町の神社祭礼	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明	122人
8	11月2日(水) 13:30~15:00	木曾義仲の栄光と挫折	かほく市文化財保護審議会委員 瀬戸 薫	142人
9	11月12日(土) 13:30~15:00	未来を育む発酵食文化	糀料理研究家 小紺 有花	115人
10	11月26日(土) 13:30~15:00	農業と食から見る 石川県の魅力	(株)金沢大地代表取締役 井村 辰二郎	103人
合 計				1,364人

事業の評価(成果・課題)

どの講座も200名以上の申込をいただき、当日の受講者数も100名以上の受講者があった。定員(130名)を超える参加があった回が昨年度同様7回となり、定員に対する受講率は、104.9%(前年度112.2%)となった。受講者数は、本講座の始まった平成25年度から、895名→1,137名→1,459名→1,364名と変化している。今年度は、初めての減少となったが、これまでの第1回講座の県外特別講師招聘を取りやめ県内講師としたこと、食に関わる講師の回で男性参加者の割合が少なかったこと、当日の天候等による出席率の著しい低下が原因と考えられる。

土日開催を平成25～26年度は4回、平成27～28年度は7回とした。今年度は、他講座の運営に関わってくださった大学教授と学生に本講座のお知らせをしたところ、3回の講座で80名の学生の受講があった。今後もこういった広報の工夫と、50代以下の受講者参加の大前提となる土日開催の配慮を続けたい。ただし、他のイベントや行楽と重なる曜日でもあるので、現地講座とともに、曜日配分のバランスを工夫していく必要がある。

講座の内容については、満足度(満足・やや満足の合計:以下同様)92.3%、興味・関心の高まり93.4%、知識の深まり91.2%、愛着・誇りの深まり89.0%、伝えたい気持ち・おもてなしの心の高まり89.0%と好評で、良い成果を得ることができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

(2) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした講座を実施する。景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する6回の講座を実施する。

対象・定員

第1・2・4・5回：一般 35名、第3回：小学生と保護者 30名、第6回：一般 20名+20名

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	6月25日(土) 9:30～16:00	醤油の里「大野」を訪ねる	(株)ヤマト醤油味噌代表取締役 山本 晴一 金沢観光ボランティアガイドまいどさん 新谷 美栄子 紺市醤油醸造所代表 紺田 健司	36人
2	7月6日(水) 13:00～16:00	金沢城を巡る ～匠の技を訪ねて～	石川の伝統的建造技術を伝える会会長 川元 傳	38人
3	8月3日(水) 8:30～16:30	小松の「ものづくり」 *小学生と保護者対象	コマツ栗津工場 担当者 サイエンスヒルズこまつ担当者	24人
4	10月1日(土) 8:00～17:30	「能登 平家物語」 ゆかりの地を訪ねて	能登半島広域観光協会相談役 藤平 朝雄	45人
5	10月12日(水) 8:00～17:30	海から見た能登の歴史	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	39人
6	10月29日(土) A) 9:00～11:30 B) 13:00～15:30	金沢市寺町台 重要伝統的建造物群保存地区を巡る	金沢工業大学准教授 山崎 幹泰	39人
合 計				221人

事業の評価(成果・課題)

バス4回(金沢1・加賀1・能登2)、徒歩2回(金沢)の計6回の講座は、ほとんどの回で天候にも恵まれ、事故もなく実施できた。バス利用の回は、従来の生涯学習センター発着を取りやめ金沢駅発着としたため、講座開設以来初めて遠距離の珠洲市も訪問できた。

昨年度から往復はがき・電子メールの2方式で申込みを受け付けた。応募数が非常に多く319名・601通(前年度317名・811通)となり、高い関心をいただいた。講座運営と安全を考え、若干名であるが、増員した。しかし、当選確率は6回の平均38.6%(前年度32.2%)となり、1回も当選できない方が多く出てしまう結果となり、「実施回数・定員を増やしてほしい。」という要望も多かった。

本年度は、能登の講座で「のと里山空港」や「道の駅高松」を乗降場所とし、能登在住者が参加しやすい環境づくりをした結果、能登5市町(輪島市、中能登町、穴水町、七尾市、羽咋市)から7名の参加があった。また、能登方面1講座と金沢1講座では、加賀2市町(小松市、川北町)から8名の参加があった。

本年度は、初めて夏休み中に小学生と保護者を対象とした講座を開催した。この回だけは定員数と同数の申込数となり、リーフレットによる広報のみでは、小学生の子どもをもつ家庭への講座周知には限界があった。また、欠席の不通知、病気等による直前の欠席、遅刻等があり、運営上も課題が残る結果となった。

講座の内容については、「興味を持って、参考になる内容だった」の項目について「とても良かった」と「良かった」の割合が99.5%だった。「普段目にしていても内容的に奥深くはわかっていなかった。」、「個人やツアーでは行かない・行けない場所の説明を受け、理解が深まった。」、「五感で感じる講座はどれもわかりやすく、印象に残る。」といった感想も多く、現地講座ならではの「直接、見て、聞いて、触れる」という、より深い学びの場を提供することができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

(3) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然等をテーマとした出前講座を実施する。

対象

小中学校：児童・生徒 ※小学校は原則4年生以上

公民館：一般

日 程

① 小中学校(13校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月2日(木) 10:40~11:25	金沢市立 浅野川小学校(5)	五郎島金時について ～加賀野菜～	JA金沢五郎島さつまいも部会 副部長 藤村 幸司	55 人
2	6月28日(火) 9:00~12:00	羽咋市立 西北台小学校(5)	西北台生きもの キッズチャレンジャー結団式・ イカリモンハンミョウの観察	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨 イカリモンハンミョウを守る会会長 架谷 成美	18 人
3	7月11日(月) 9:35~10:20	金沢市立 富樫小学校(6)	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	91 人
4	9月28日(水) 13:50~14:35	金沢市立 馬場小学校(4)	子供にもわかる 徳田秋声の人がらについて	徳田秋聲記念館学芸員 藪田 由梨	20 人
5	9月28日(水) 14:00~14:45	川北町立 川北小学校(6)	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	35 人
6	11月1日(火) 9:30~10:15	津幡町立 条南小学校(6)	石川の代表的な地層と化石	石川県立自然史資料館 学校地域支援担当 北村 栄一	82 人
7	11月7日(月) 10:40~12:00	白山市立 白峰小学校(1-6)	世界にはばたく石川の産業	株式会社マルガー代表取締役 柴野 大造	42 人
8	11月21日(月) 13:50~14:35	金沢市立 三馬小学校(4)	金沢の文学者 ～金沢の三文豪～	石川近代文学館学芸員 宮本 知穂 當摩 英理子	126 人
9	12月2日(金) 9:30~11:20	金沢市立 馬場小学校(6)	加賀料理作りにチャレンジしよう	北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科教授 新澤 祥恵	22 人
10	1月17日(火) 10:30~11:20	小松市立 苗代小学校(4)	伝統工芸 石川の陶芸 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 浅藏 一華	115 人
11	1月23日(月) 10:35~11:20	金沢市立 四十万小学校(4)	伝統工芸 石川の陶芸 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 打田 幸生	81 人
12	1月26日(木) 13:50~14:35	金沢市立 泉野小学校(4)	伝統工芸 石川の陶芸 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 井出 幸子	157 人
13	2月10日(金) 13:35~14:20	羽咋市立 西北台小学校(5)	イカリモンハンミョウ報告会	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨 イカリモンハンミョウを守る会会長 架谷 成美	34 人
合 計					878 人

② 公民館(12館)

番号	日時	公民館	演題	講師	参加人数
1	7月12日(火) 13:30～15:00	金沢市 伏見台公民館	金沢観光あれこれ ～隠れた金沢の名所・名跡の発見～	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 米尾 貞夫	62人
2	8月4日(木) 13:30～15:00	金沢市 城南公民館	磯田謙雄氏の紙芝居 他	かなざわ紙芝居倶楽部代表 森 常栄	73人
3	8月7日(日) 9:00～14:00	金沢市 味噌蔵町公民館	子ども体験教室 川遊びをしよう	味噌蔵町公民館 青少年部長 岩崎 昌之 視聴覚部長 紋谷 真佐人	51人
4	9月24日(土) 10:00～14:00	野々市市 押野公民館	野々市特産ヤーコンまめ知識講座 「食と健康について」	金沢工業大学講師 松本 恵子 谷田 育宏	25人
5	10月21日(金) 10:00～11:00	野々市市 野々市公民館	白山の砂防について 於)白山砂防科学館	白山しらみね自然学校代表 山口 幸一	23人
6	11月10日(木) 10:30～12:00	金沢市 諸江公民館	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	34人
7	11月16日(水) 10:30～13:00	宝達志水町 公民館	COOKING SCHOOL じわもん料理教室	青木クッキングスクール非常勤講師 山本 美穂子	12人
8	2月18日(土) 14:00～15:30	輪島市 鳳至公民館	輪島の歴史① 身近な文化財を訪ねて	元生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	29人
9	2月25日(土) 14:00～15:30	輪島市 鳳至公民館	輪島の歴史② 舳倉の歴史あれこれ	元生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	20人
10	2月26日(日) 14:00～15:30	野々市市 郷公民館	白山信仰の展開	小松短期大学教授 由谷 裕哉	38人
11	3月9日(木) 13:30～15:00	珠洲市 上戸公民館	能登の方言講座	ラジオパーソナリティ きぬた 敏郎	21人
12	3月14日(火) 13:30～15:00	金沢市 伏見台公民館	金沢の橋の移り変わり とまちづくり	金沢工業大学客員研究員 安達 實	60人
合 計					448人

事業の評価(成果・課題)

ふるさと石川について各公民館・学校が独自に選んだテーマに応じた専門の講師を派遣することができた。各地域に密着したテーマが多く取り上げられ、地域の子どもを教える先生、地域の学びのニーズを知る公民館職員の求めに細かく対応することができたと考えられる。

4年目となる本講座では、続けてお願いしている講師もあり、対象年齢や講座内容に適した講師を選定しやすくなり、「学校・公民館」と「地域の先生」とを結びつける役割も担えた。お話のみならず「実技や物を見る、触わる、実際にやってみる」ことを通して学習の場を提供して下さった講師が多かった。仕事への情熱、生き様等、講師の存在そのものに直接ふれることができるよい機会ともなった。

昨年度から講座時間の上限を小中学校でも90分とした。屋外での学習や、調理実習等の活動を伴う講座で3校が90分の講座を利用した。また、学校について、従来の各市町教育委員会を通じての申込を改め、本年度から直接センターに申し込む形に変更し、作業の軽減化ができた。

講座の内容については、アンケートで「とても良かった」と「良かった」の合計が100%と高い評価を受けており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という目標を達成することができたと考えられる。

出前講座の良さを知る施設の継続実施は良いことであるが、反面、実施施設の固定化や、複数回の実施が見られることは課題でもある。新規実施施設の開拓、効果的な通知や広報の模索を続けたい。

(4)あすなる悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

参加対象・定員

一般 20名～50名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月14日(土) 14:00～15:30	心理学講座 紙芝居で学ぶ”親子関係の心理学”①	山本 紀子	11人
2	5月16日(月) 14:00～15:30	健康講座 「認知症」あっちいけ！講座	畠 紀子	16人
3	5月18日(水) 14:00～15:30	健康講座 体健やかに、心楽しく	畠 紀子	16人
4	5月21日(土) 14:00～15:30	心理学講座 紙芝居で学ぶ”親子関係の心理学”②	山本 紀子	9人
5	5月24日(火) 14:00～16:00	歴史講座 ピラミッドの真実①	堀川 惇夫	38人
6	5月25日(水) 14:00～16:00	歴史講座 ピラミッドの真実②	堀川 惇夫	27人
7	6月 1日(水) 14:00～15:30	健康講座 ぼけないためのらん作り	日尾 章	16人
8	6月14日(火) 14:00～15:30	心理学講座 人に好かれる自分づくりⅢ	塚本 茂樹	28人
9	6月18日(土) 15:00～16:30	生活講座 ワインの楽しみ方～家飲みからパーティまで～①	木村 真樹	27人
10	6月20日(月) 14:00～15:30	経済講座 アジアが世界経済を牽引する	谷川 克己	23人
11	6月22日(水) 14:00～15:30	歴史講座 青木新兵衛芳斎について(加賀藩士槍の名手)	谷口 和男	39人
12	6月28日(火) 14:00～15:30	健康講座 キレイの素は骨盤にあり！	酒井 彰子	30人
13	6月30日(木) 14:00～15:30	経済講座 TPP「大筋合意」	谷川 克己	25人
14	7月 1日(金) 14:00～15:30	歴史講座 加賀前田家三代前田利常の偉業について	後藤 朗	40人
15	7月 4日(月) 14:00～15:30	生活講座 色で元気に！～楽しく学ぶ色彩～	渋谷 夏代	20人
16	7月 9日(土) 13:00～14:30	歴史講座 殿様はつらいよ 御家騒動物語	中田 廉子	54人
17	7月 9日(土) 14:45～16:15	文化講座 「歴史都市金沢の魅力に迫る」Ver1.3	植茶 泰男	53人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
18	7月12日(火) 14:00～15:30	健康講座 「健康寿命を延ばそう～人間の生命力と健康の法則～」	木下 幸子	46人
19	7月15日(金) 14:00～15:30	文化講座 九谷焼絵付体験①6寸皿	高島 敏彦	6人
20	8月 2日(火) 14:00～15:30	文化講座 九谷焼絵付体験②大小湯呑	高島 敏彦	7人
21	8月19日(金) 14:00～15:30	歴史講座 サリバン先生とヘレンケラー女史 障害克服の50年と金沢来訪	北村 徹雄	18人
22	8月25日(木) 14:00～15:30	文化講座 楽しい大人の筆文字アート	上野 佐奈美	21人
23	9月 3日(土) 15:00～16:30	生活講座 ワインの楽しみ方～家飲みからパーティまで～②	木村 真樹	25人
24	9月 6日(火) 14:00～16:00	健康講座 傘寿さんさん	西本 宗之助	24人
25	9月14日(水) 14:00～15:30	歴史講座 平家の勃興と滅亡のきっかけは加賀国にあり	後藤 朗	37人
26	9月17日(土) 14:00～15:30	文化講座 大人も楽しい紙芝居！「金沢の魅力を紙芝居で発信！」	森 常栄	22人
27	9月28日(水) 14:00～15:30	歴史講座 石川県の偉人 日本社会福祉法人の祖 小野太三郎の福祉の心	小坂 與繁	28人
28	9月30日(金) 14:00～15:30	自然講座 日本海の食用エビ・カニ類	本尾 洋	18人
29	10月 4日(火) 15:00～16:30	健康講座 暮らしの方向性と認知症	竹下 知子	13人
30	10月14日(金) 14:00～15:30	生活講座 新幹線 0系からW7系まで	下田 敬一	28人
31	10月18日(火) 14:00～16:00	自然講座 トキ復活？トキ保護活動の実践からわかること	西屋 馨	15人
32	10月27日(木) 14:00～15:30	文化講座 癒しの健康オカリナ	上村 彰	9人
33	11月 1日(火) 14:00～15:30	文学講座 誰でも夢や思い出を小説に書ける	小村 輝男	10人
34	11月 8日(火) 14:00～15:00	生活講座 環境を守る(エコライフ)のすすめ	篠原 洋一郎	18人
合 計				817人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者も講師も共に成長していける講座として定着し、今年度は講師27名による34講座を開講することができ、参加人数はのべ817人とこれまでで最多となった。受講者アンケートでは「内容に興味を持てる」、「参考になる」との意見や感想が多く、また、「講師の話し方」、「資料の提示の仕方」についても、講師打ち合わせ会で参考資料を配付したこともあり、大幅に改善した。

(5) あすなろ悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講師となる「あすなろ悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者 2 名、修了者 1 名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	履修	参加者
1	7月 6日(水) 13:00～15:30	開講式 基本1 プレゼンテーションの基本	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	2 人
2	7月13日(水) 13:30～15:30	基本2 チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		2 人
3	7月20日(水) 13:30～15:30	基本3 チラシの魅せ方2	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		2 人
4	7月28日(木) 13:30～15:30	基本4 スピーチプレゼンテーションの技法	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝		2 人
5	平成28年度「あすなろ悠々塾」聴講 ※「あすなろ悠々塾」講座⑩～⑳の中から1つ以上聴講し、評価書を提出				
	7月 9日(土)	あすなろ悠々塾⑩ 殿様はつらいよ 御家騒動物語		選択	2 人
		〃 ⑪ 「歴史都市金沢の魅力に迫る」Ver1.3			
	7月12日(火)	〃 ⑫ 健康寿命を延ばそう～人間の生命力と健康の法則～			
	7月15日(金)	〃 ⑬ 九谷焼絵付体験①6寸皿			
	8月 2日(火)	〃 ⑭ 九谷焼絵付体験②大小湯呑			
	8月19日(金)	〃 ⑮ サリバン先生とヘレンケラー女史 障害克服の50年と金沢来訪			
	8月25日(木)	〃 ⑯ 楽しい大人の筆文字アート			
	9月 3日(土)	〃 ⑰ ワインの楽しみ方～家飲みからパーティまで～②			
	9月 6日(火)	〃 ⑱ 傘寿さんさん			
	9月14日(水)	〃 ⑲ 平家の勃興と滅亡のきっかけは加賀国にあり			
	9月17日(土)	〃 ⑳ 大人も楽しい紙芝居！「金沢の魅力を紙芝居で発信！」			
	9月28日(水)	〃 ㉑ 石川県の偉人 日本社会福祉法人の祖 小野太三郎の福祉の心			
	9月30日(金)	〃 ㉒ 日本海の食用エビ・カニ類			
	10月 4日(火)	〃 ㉓ 暮らしの方向性と認知症			
	10月14日(金)	〃 ㉔ 新幹線 0系からW7系まで			
10月18日(火)	〃 ㉕ トキ復活？トキ保護活動の実践からわかること				
10月27日(木)	〃 ㉖ 癒しの健康オカリナ				
11月 1日(火)	〃 ㉗ 誰でも夢や思い出を小説に書ける				
11月 8日(火)	〃 ㉘ 環境を守る(エコライフ)のすすめ				
6	11月30日(水)	企画書発表会		必修	1 人

事業の評価(成果・課題)

今年度の修了生は1名であった。平成25年度からの4年間、応募者数は数名あるものの、修了者は毎年0～1名となっている。募集チラシを工夫をするとともに、その配布先も検討し、応募者を増加させ、新規講師の確保を図りたい。

(6) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対象・定員

一般及び公民館職員研修受講者 定員 100名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月23日(木) 13:00~14:30	人権講演会 演 題 「人権と差別 それって差別？ 区別？」	NPO法人 東濃成年後見センター 理事長 渡辺 哲雄	84人

(注) 参加人数内訳：一般24人、公民館職員基礎研修50人、公民館職員専門研修10人

事業の評価(成果・課題)

講演会では、講師の親しみやすいお人柄もあり、差別と区別の違い等についてわかりやすく丁寧にご教示いただいた。アンケート結果から、公民館職員の方々にも大変好評であった。次年度は、交通事故により障害者となった方が、お世話になった方々への恩返しも込めてボランティア活動等に励む姿を自ら語っていただくことを予定している。なお、公民館職員専門研修者を受講対象から外すため、一般参加者の募集を増やすよう積極的に広報する。

(7)スペシャル講演会

趣 旨

石川県高等学校野外調査研究会と連携し、中央で活躍する著名な講師を招いて県民が世界地理を学ぶ機会を提供する。

対象・定員

一般 50名

会 場

石川県本多の森庁舎 第3会議室

日 程

日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
6月26日(日) 14:00～15:30	「いま、イスラム世界で起きていること」	同志社大学大学院 グローバルスタディーズ研究科・教授 内藤 正典	90人

事業の評価(成果・課題)

高校の地理教員で組織する「石川県高等学校野外調査研究会」と連携し、今年度初めて実施したが、時の話題と重なり、予想を上回る90名が参加した。講座を実施する前に定員に達し、事前に10名の方の受講を断ったが、当日事前申込をせず参加する方もおられ、対応が難しい。石川県立生涯学習センター主催講座では地理学分野の講座が少なく、地理学の講座を設けて、県民に世界地理を学ぶ機会を提供できたことは意義深い。大変好評なので来年度も引き続き実施したい。

(8)ファミリー・カレッジ in 本多の森

趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含むファミリー層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

会 場

本多の森庁舎会議室、他

日 程

	日 時	対象・定員	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	5月3日(火) 13:30~15:00	一般 150人	「フードアナリスト的“おいしい”の秘密」	雅珠香 (1級フードアナリスト)	95人
2	8月9日(火) 8:00~10:00	小学生と その保護者 20組	「“兼六園と金沢城の秘密”を 歩いてみよう！」	森永 寿久 (石川県観光スペシャ ルガイド)	19組 49人
3	8月21日(日) 14:00~15:30	小学生と その保護者 100組	「童謡あのね ～童謡の背景を知って歌おう～」	神崎 ゆう子 (NHK「おかあさんといっ しょ」第16代うたのおね えさん)	32組 83人
4	11月3日(木) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「青島先生といっしょに、 うたって！きいて！」	青島 広志(音楽家) 小野 勉(歌手)	91組 215人
5	1月28日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「親子でダンスふるさとジャポン ダンスは体のことば ～いっぱいおしゃべりしちゃいましょう～」	ラッキィ池田(振付師)	77組 198人

事業の評価(成果・課題)

今年度は5回実施した。受講者は小学校低学年が多いので、講演会を止めて、ワークショップのみの形態としたため、アンケート結果を見ても大変好評であった。講師により応募状況が大幅に違い、小学校低学年に人気のある講師を選ぶ必要がある。青島広志氏、ラッキィ池田氏は大変好評であった。来年度も同じようなワークショップ型講演会を行える講師を選定したい。

「ファミリー・カレッジin本多の森」に参加した小学生とその保護者が、県民大学校の他の講座に参加するよう開講式で案内したり、リーフレットを配付したが、他の講座への参加状況は少ない。来年度は新たな対策が必要である。

(9) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	5月18日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 いしかわ創業物語 「あんころ人情物語」～創業260 年を迎える老舗・円八～	いしかわ人国記 「夢・北陸の宝塚」 平沢嘉太郎	歴史秘話ヒストリア 戦国武将編1 武田信玄	51 人
2	6月 1日(水) 14:00～16:00	「文化の香りを届けて」～老舗 書店うつつのみや誕生秘話～	「耕地整理の父」 高田久兵衛	毛利元就	37 人
3	6月15日(水) 14:00～16:00	「動くこと時を失わず」～学生衣 料・オートモの知られざる歴史～	「製塩業に賭ける」 藻寄行蔵	上杉謙信	38 人
4	7月 6日(水) 14:00～16:00	「ツダヨネ」～創業者・津田米次 郎、不屈の精神～	「畜産界の功労者」 水登勇太郎	織田信長(1)	37 人
5	7月20日(水) 14:00～16:00	「尾小屋鉦山」～北陸の鉦山王・ 激動の歴史～	「七ヶ用水の功労者」 枝権兵衛	豊臣秀吉	40 人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	8月 3日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 石川の文化財 「気多大社」	いしかわ人国記 「雄弁の政治家」 永井柳太郎	歴史秘話ヒストリア 戦国武将編2 伊達政宗	36 人
2	8月24日(水) 14:00～16:00	「那谷寺」 ～自然にとけこむ寺～	「反骨のジャーナリスト」 桐生悠々	直江兼続	35 人
3	9月 7日(水) 14:00～16:00	「能登、門前町総持寺」 ～禅のふるさと～	「加賀の団十郎」 嵐冠十郎	真田幸村	38 人
4	9月21日(水) 14:00～16:00	「大乘寺」 ～現代に生きる修行道場～	「ロシア皇太子を救った 車夫」北ヶ市市太郎	織田信長(2)	33 人
5	10月 5日(水) 14:00～16:00	「妙成寺」 ～暮らしと祈りを見つめて～	「海に生き、海に眠る」 久田佐助	徳川家康	37 人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	11月2日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 ふるさとの食文化 「秘技！坂網獵と治部煮」	いしかわ人国記 「国文学の開拓者」 藤岡作太郎	歴史秘話ヒストリア 幕末編 高杉晋作	25 人
2	11月16日(水) 14:00～16:00	〃 「醸造の里と祝い酒」～自然の 恵み・手取の伏流水～	〃 「近代数学の父」 関口開	〃 新撰組	29 人
3	12月7日(水) 14:00～16:00	〃 「奥能登外浦の岩ノリ漁」	〃 「気骨の教育家」 北条時敬	〃 坂本龍馬と 中岡慎太郎	34 人
4	1月11日(水) 14:00～16:00	〃 「冬を彩る加賀れんこん」	〃 「相撲道」 阿武松緑之助	〃 勝海舟	27 人
5	1月25日(水) 14:00～16:00	〃 「春の風物詩 イサザ漁」～春 の足音を探して 穴水町～	〃 「友禅・雨山の世界」 木村雨山	〃 西郷隆盛	27 人
1期から3期までの合計					524 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も3期に分け、それぞれテーマを変えて開講した。

県民大学校放送利用講座として過去にテレビ放映された「いしかわ大百科」は、「いしかわ創業物語」「いしかわの文化財」「いしかわの食文化」の3テーマを、3期に分け教材として活用した。

また同じく県民大学校放送利用講座として放送されていた、石川の偉人たちを取り上げた「いしかわ人国記」を、3期に渡り活用した。

いずれの作品も、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

「歴史秘話ヒストリア」についても、大河ドラマ等の影響もあり多くの受講生が関心を持って聴講し、日本史の知られざる一面を知ることができたと好評であった。

いずれも解説を加えることでより理解しやすくなっており、これもこの講座が好評である一因となっている。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質のビデオ教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した講座を継続し、県民に学ぶ機会を提供していくことが必要と考える。

なお、3期に分けて実施することで、年間を通じた実施テーマを広くすることができ、より多くの県民ニーズに応えられるようになっている。

(10) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵する貴重な16ミリ映像教材を活用し、体験することが難しくなりつつある映写機によるフィルム上映の味わいととも、過去の自然文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演題)	参加人数
1	7月25日(月) 14:00～15:30	①激動の20世紀	20 人
2	8月29日(月) 14:00～15:30	①EXPO'70ー人類の広場 ②私のかもめ	25 人
3	9月26日(月) 14:00～15:30	①日本近代女性の歩み ②幾山河の歌 ー若山牧水ー	18 人
4	10月31日(月) 14:00～15:30	①能登路を行く ②伝統に生きる町ー金沢ー ③粟津の太鼓 ④化石が語る太古の白山	24 人
5	11月28日(月) 14:00～15:30	①詩人とふるさと ②漱石の世界 ③川端康成と伊豆 ー名作のふるさと伊豆の踊り子と訪ねてー	24 人
合 計			111 人

事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料に加え、日本の文学について学ぶフィルムなど、貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見ることのできない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

また、近年映画館も含め、フィルム上映が行われる機会が激減している中で、映写機による上映を体験する機会を県民に持ってもらうことは、映像文化の面からも非常に重要であると思われる。

フィルムライブラリーを有する当センターが、今後ともこの重要な責を担っていく必要がある。

(11)本多の森映画会

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 80名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	10月16日(日) 10:00~12:00	「旅立ちの島唄~十五の春~」	18 人
2	10月16日(日) 14:00~16:00	「長州ファイブ」	16 人
3	11月3日(木・祝) 10:00~11:40	「もういちど」	35 人
4	11月3日(木・祝) 14:00~16:00	「ローマの休日」	42 人
合 計			111 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、日本の歴史や地域・親子の絆を取り上げた近年制作の作品に、往年の名作映画を加え全4回の上映を行った。

メインターゲットとした中高年世代に大変好評であり、継続して映画上映会の実施を望む声が多く聞かれた。

実施時期については、秋のミュージアムウィーク及びマナビィフェアに合わせ、また実施曜日については日曜日や祝日の午前・午後開催とし、より多くの方が視聴できるようにした。

今後も、より利用者が参加しやすい環境での上映会の実施を検討したい。

(12) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月28日(木) 13:30~15:30	①「ふるさと再生日本の昔ばなし」より 織姫と彦星/闇夜にカラス/髪そり狐 ②「いじわる狐ランボーのなみだ」 ③「ブンナよ木からおりてこい」	181 人
2	7月29日(金) 13:30~15:30	(2日間とも同じ作品を上映)	182 人
合 計			363 人

事業の評価(成果・課題)

例年、予約で満席となり申込みを断っている状況が続いていたことから、平成27年度より2日間同一プログラムで上映することとし、参加者の分散と予約受付の柔軟性向上を図っている。その結果、市内の児童クラブ、保育園等の団体鑑賞や、家族での鑑賞など、多数の県民の参加者を受け入れることができた。

臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。また児童クラブ等においては、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

次年度も多くの参加者が鑑賞しやすいよう、上映作品の選定や上映方法に工夫を凝らすとともに、引き続き鑑賞に適した同会場の利用を検討したい。

なお今年度は、いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール「進め！出世街道」事業の1つとしても実施している。

(13) 本多の森キッズシアター

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回80名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数	
1	8月8日(月) 13:30~15:00	①「世界めいさく童話」より 白雪姫／赤い靴／長ぐつをはいた猫	2日間とも同 じ作品を上 映	86 人
2	8月9日(火) 13:30~15:00	②「まんが日本昔ばなし」より 浦島太郎／絵姿女房／一休さん		90 人
3	8月19日(金) 13:30~15:00	①「泣いた赤おに」 ②「長ぐつ三銃士」	80 人	
合 計			256 人	

事業の評価(成果・課題)

平成26年度より実施している事業で、今年度は当センター庁舎内の第3会議室を使用して実施した。また広報は「夏休み子ども映画会」同様、公民館等社会教育施設のほか、金沢市内の学童クラブ、幼稚園・保育園に対しても行った。

8月の休業期間中の行事としてのニーズに合致したことから、児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体を取り込むことができ、また今年度は80人以上を収容できる会場を確保できたことから、一度に複数の団体を受け入れられ、多数の参加を得ることができた。

「夏休み子ども映画会」と併せ、休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう機会となっており、引き続き次年度以降の実施と、より多くの子どもたちに視聴してもらえる環境づくりの検討を行いたい。

なおこの事業も今年度は、いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール「進め！出世街道」事業の1つとしても実施している。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」・「講師案内」・「視聴覚教材情報」・「ふるさと情報」・「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び、当センターの主催講座「ふるさとモット学び塾」の講座の一部の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応じて、充実した生涯学習情報を県民に提供するシステムである。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置して石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

<データベース> 16,633件

ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438件
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ教材	11,442件
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	175件
講座案内	県内の各種講座・講演会等	2,068件
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	447件
映像	今蘇る石川の記録映画・講座ビデオ(ふるさとモット学び塾等)	63件

利用状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
データベース	41,024	44,162	48,350	50,476	52,301

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー（マナビィコーナー）・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材（16ミリフィルム・ビデオ等）の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対象

各市町教育委員会、公民館及び団体等（ビデオ・CD・DVDは個人も対象）

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

視聴覚教材保有状況

区分	本数	平成27年度末	平成28年度		合計
			購入	寄贈・その他	
16ミリフィルム		1,556 本	本	本	1,556 本
ビデオテープ		5,930		-1	5,929
CD		823			823
DVD		1,549	59	54 -1	1,661

利用状況

区分	本数	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム		65	4,209	74	4,093	82	3,118	73	2,852	83	2,684
ビデオテープ		1,762	11,081	1,185	5,618	282	4,629	72	2,999	63	4,443
CD		501	1,373	331	867	656	1,113	900	1,895	430	817
DVD		1,025	7,543	1,712	9,623	2,985	13,311	3,233	17,362	2,954	12,406

(4) 16ミリ映画教材提供

趣 旨

市町教育委員会と連携し、市町の公民館等生涯学習施設において、当センター視聴覚ライブラリーが所蔵する16ミリ映画の上映を行うことにより、幅広く県民の生涯学習活動を支援する。

対象・定員

子ども・一般 定員は各会場による

会 場

- 第1回 小松市立空とこども絵本館
- 第2回 加賀市塩屋会館
- 第3回 宝達志水町民センターアステラス
- 第4回 小松市空とこども絵本館
- 第5回 金沢市伏見台公民館
- 第6回 金沢市伏見台公民館

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月5日(日) 14:00～15:00	「アラジンと不思議なランプ」、「大工と鬼六」、「ねずみの相撲」、「ミッキーマウスとブルート」、「七匹の子やぎ」、「はだかの王様」	32 人
2	7月15日(金) 14:00～16:00	「てんびんの詩」	24 人
3	7月26日(火) 13:30～15:00	「雪の女王」、「いじわる狐ランボーのうそ」、「にほんのおばけ話きもだめしのぼん」、「がんばれスイミー」	113 人
4	11月23日(水) 14:00～15:00	「子ぶたの冒険」、「どうぶつ村の大きわぎ」、「桃太郎」、「白鳥の王子」、「夢を買う」	73 人
5	12月22日(木) 13:30～15:30	「次郎物語」	55 人
6	2月14日(火) 13:30～15:40	「イタズ」	62 人
合 計			359 人

事業の評価(成果・課題)

16ミリ映画は、フィルム、映写機とも貴重な財産であり、またフィルム上映そのものが貴重な文化であるので、使える間に少しでも多くの県民に利用し、体験していただくことが重要である。当年度においても新たな施設と連携して事業を実施できたことは、大きな成果であったといえる。

今後も、市町の生涯学習活動を支援する視点から、利用申込の柔軟な取り扱いなど、利便性を向上させた事業となる工夫をしていきたい。

(5) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月30日 第272号	表題 「次なる100年へのスタート」 執筆者 石川県立生涯学習センター館長 近藤 繁彦	表題 「私とビデオ撮影の出会い」 執筆者 金沢市諸江公民館視聴覚部長 斉藤 實
11月30日 第273号	表題 「『知の拠点』として」 執筆者 石川県立図書館長 平野 恒男	表題 「『大人も楽しい紙芝居』 地域の魅力を紙芝居で発信！」 執筆者 金沢紙芝居倶楽部 森 常栄

(6) 県民企画展示マナビィコーナー

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月1日(金)～4月30日(土) 9:00～18:00	松本和也個展 「じゅうねんあにうゝあさりい」	松本 和也
2	5月1日(日)～5月31日(火) 〃	フォトサークル 思い思いの写真展	諸江公民館 フォトサークル
3	6月1日(水)～6月30日(木) 〃	写真・心の絵手紙二人展	山本 武生
4	7月1日(金)～7月29日(金) 〃	クレイアートの集い (パンフラワーに魅せられて)	根岸アートスクール
5	8月1日(月)～8月31日(水) 〃	森の都愛鳥会・野鳥写真&イラスト展	森の都愛鳥会
6	9月2日(金)～9月30日(金) 〃	花と風景の木版画展	山崎 文子
7	10月2日(日)～10月30日(日) 〃	能面展	祐門会
8	11月1日(火)～11月30日(水)	第36回石川県児童・生徒俳句大会入賞作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
9	〃	手の平サイズのクレイ（粘土）アート	クレイクラフトアマン
10	12月6日(火)～12月26日(月) 〃	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
11	1月5日(木)～1月31日(火) 〃	新春「墨・彩」雄歩展	泊 雄平（雄歩）
12	2月3日(金)～2月28日(火) 〃	陶心会作品展	陶心会
13	3月1日(火)～3月30日(木) 〃	自然の風景や花たち&川柳のコラボレーション	岡本 聡

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、声掛けが功を奏し、早い段階で展示が決まり、写真、能面、クレイアート、木版画、陶芸、異色なかぶり物まで多種多様な展示を紹介できた。どの展示もレベルが高く学習意欲の高さを伺い知ることができ、来館者増や生涯学習の啓発にも繋がった。今後とも、県民がより気軽に利用でき、常に良い刺激を発信できる「場」を目指して、工夫やPRに努めていきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 60名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月26日(木) 10:00～12:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	48人
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 関戸 正彦	47人
	14:00～14:40	石川県の生涯学習の施策	石川県教育委員会生涯学習課課長補佐 網本 弘志	47人
	14:40～15:20	県立生涯学習センターの事業概要	石川県立生涯学習センター担当課長 松浦 直裕	47人
	15:30～16:00	公民館活動	金沢市小立野公民館館長 久井 彰継	47人
2	6月2日(木) 10:00～12:00	公民館におけるHPの活用	金沢市田上公民館 文化教養部長 福田 和夫 金沢市戸板公民館 主事 浦島 孝弘	29人
	13:00～16:00	伝わるチラシ・館報の作り方 (グループ討議)	ホロデックス代表 村本 睦戸	29人
3	6月16日(木) 10:00～12:00	「学びの循環を地域につくる」	静岡大学イノベーション社会連携推進機構教授 阿部 耕也	20人
	13:00～16:00	「公民館の底力」(グループ討議)		
4	6月23日(木) 10:00～12:00	コミュニケーション能力向上	杉原企画代表 杉原 美佐子	50人
	13:00～14:30	人権講演会 「人権と差別～それって差別？ 区別？」	NPO法人 東濃成年後見センター理事長 渡辺 哲雄	50人
	14:40～16:10	人間関係づくり	石川県レクリエーション協会指導員 岡田 千砂	50人
5	7月14日(木) 10:00～12:00	学校・家庭・地域の連携について	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	45人
	13:00～16:00	〃 (グループ討議)		
合 計				509人

(注) ・5月26日・6月23日・7月14日は必修講座

- ・5月26日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催。(参加人数は上記以外に担当者基礎研修14人)
- ・6月16日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。(参加人数は上記以外に専門研修10人、市町等担当者研修13人) ※会場:石川県行政庁舎1102会議室
- ・6月23日の「人権講演会」は専門研修と合同開催及び一般公開。(参加人数は上記以外に専門研修10人、一般24人)

事業の評価(成果・課題)

昨年度は一部の市町において、履修要件が十分理解されず未修了者が出たので、今年度は年度当初に履修要件の確認を行った結果、修了時にトラブルは生じなかった。修了者数は、館長23名、主事等21名。

また、今年度は申し込み時点で、受講予定の確認ができず、欠席連絡等も不徹底であったため、グループ協議の班編成に支障をきたしたので、来年度に向け受講者調書の改善を行った。

来年度は講座内容を整理し、館長・主事等に求められる基礎知識・技能並びに最近の情報及び公民館の取組についての紹介等の講義を設定した。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月3日(金) 10:00~12:00	公民館と生涯学習のまちづくり	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	11 人
	13:00~16:00	同 (グループ討議)		
2	6月16日(木) 10:00~12:00	「学びの循環を地域につくる」	静岡大学イノベーション社会連携推進 機構 教授 阿部 耕也	10 人
	13:00~16:00	「公民館の底力」(グループ討議)		
3	6月23日(木) 10:00~12:00	地方創生を担うこれからの公民館活動を考える～これからの地域づくりへの可能性を探る～	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	10 人
	13:00~14:30	人権講演会 「人権と差別～それって差別? 区別?」	NPO法人 東濃成年後見センター 理事長 渡辺 哲雄	10 人
	14:40~16:10	地方創生を担うこれからの公民館活動を考える (グループ討議)	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	10 人
合 計				51 人

(注) ・6月3日・6月23日は必修講座

・6月16日は基礎研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。(参加人数は上記以外に基礎研修20人、生涯学習・社会教育担当者等研修15人) ※会場:石川県行政庁舎1102会議室

・6月23日の「人権講演会」は基礎研修と合同開催及び一般公開。(参加人数は上記以外に基礎研修50人、一般24人)

事業の評価(成果・課題)

県内6市町から14人が受講し、今年度2年目に当たる館長2名、主事2名が修了した。受講者アンケートからは他の公民館との情報交換ができてよかったとの声があり、来年度は全国の実践事例を取り入れるとともに、地域課題の発見と課題などのワークショップの時間を設定する。平成25年度から2年間の課程に変更後、参加市町が減少し、受講者は10数名にとどまっている。基礎研修修了者が毎年40名程度いることから、来年度は今年度修了者への啓蒙及び過去の専門研修修了者に対して新しい情報を提供する場所としてオブザーバー参加を認めることとした。

(3)ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員等にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

市町職員、公民館職員、NPO職員及び一般
 【入門編】 40名 【応用編】 30名

会 場

本多の森庁舎会議室、等

日 程

【入門編】

番号	日	時	内 容	講 師	参加人数
1	7月7日(木)	10:00~16:00	入門講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	41人
2	7月8日(金)	10:00~16:00	” ②	”	41人
3	7月22日(金)	13:30~16:00	修了生実践事例紹介	七尾市能登島公民館 主事 谷内 玲香 津幡町社会福祉協議会 村中 智恵 保育園保護者会世話人 山窪 純	38人
合 計					120人

【応用編】

番号	日	時	内 容	講 師	参加人数
1	9月1日(木)	10:00~16:00	応用講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	19人
2	9月2日(金)	10:00~16:00	” ②	”	18人
3	9月27日(火)	13:30~16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	17人
4	9月28日(水) ~11月18日(金)	\	実地体験(各自)		19人
5	12月1日(木)		13:00~16:10	実地体験報告会 修了式	発創デザイン研究室 代表 富永 良史
合 計					93人

事業の評価(成果・課題)

入門編は今年度も定員を上回る申し込みがあり、多くの方が最後まで受講した。入門編から引き続き応用編を受講した方は少なかったが、19名が修了することができ、平成20年度から延べ148名(重複を除く)の方が修了。講座内容に対して期待度に比べ満足度が低い面があるので、来年度講座の内容を一部見直していきたい。

今年度から新たに、修了生の勉強会「Fの会」を始め年間で4回実施することができた。ファシリテーターとして活躍するためには研修が不可欠であるため、今後もこの「Fの会」をサポートしていきたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対象・定員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者 30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月26日(木) 10:00~12:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	16人
	13:00~13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 関戸 正彦	16人
	14:00~14:40	石川県の生涯学習の施策	石川県教育委員会生涯学習課課長補佐 網本 弘志	16人
	14:40~15:20	県立生涯学習センターの事業概要	石川県立生涯学習センター担当課長 松浦 直裕	16人
	15:30~16:00	公民館活動	金沢市小立野公民館館長 久井 彰継	16人
2	5月27日(金) 10:00~12:00	生涯学習・社会教育担当者に求められること	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	14人
	13:00~16:00	コーディネーター力向上 ～人を動かす話し方～		14人
合 計				108人

(注) ・5月26日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修 48人)

事業の評価(成果・課題)

今年度の申込者は、17名。(平成26年度12名、平成27年度15名)

1日目は、公民館職員基礎研修と合同で生涯学習・社会教育の概要を学ぶ講座を実施。受講者からは、参考になったとの意見が多かった。

2日目は、生涯学習・社会教育担当職員に求められる能力について講義を受け、ワークショップでは、他市町の新任の職員との意見交換を実施した。受講者からは、他市町の方と交流ができ、実践に役立つ内容であったと好評だった。

来年度も、1日目は公民館職員研修と合同で実施するため、生涯学習・社会教育の概要講義並びに公民館に関する現状と現場からの実践方向を取り入れることとした。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材としての16ミリフィルムの活用活性化を図るとともに、フィルムの保全のために、正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	4月22日(土)	9:30~13:00	3人
2	5月24日(火)	14:00~17:00	1人
3	6月28日(火)	13:30~16:45	1人
4	9月13日(火)	13:30~17:00	1人
5	10月26日(水)	13:30~17:00	1人
6	3月31日(金)	9:15~12:15	1人
合 計			8人

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて講習会を実施している。16ミリ映画教材利用の拡大、映写技術の継承のためにも、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェアin本多の森

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター、いしかわ生涯学習講師の会（*）

会 場

石川県本多の森庁舎

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
プレ イ ベ ン ト	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の紹介コーナー (石川県立自然史資料館、金沢市材木公民館、金沢市小立野公民館、金沢市崎浦公民館、金沢市田上公民館、金沢市湯涌公民館、石川県民大学校事務局)	10月26日(水) ～11月1日(火) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	4,178 人
展 示 ・ 実 演	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の紹介コーナー (石川県立自然史資料館、金沢市材木公民館、金沢市小立野公民館、金沢市崎浦公民館、金沢市田上公民館、金沢市湯涌公民館、石川県民大学校事務局)	11月2日(水) ～11月3日(木) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	1,924 人
	ハンドベル演奏 (北陸学院中学校)	11月3日(木) 15:00～15:15			
	第36回石川県児童・生徒俳句大会入選作品展 (石川県俳文学協会児童生徒俳句委員会) 手の平サイズのクレイ(粘土)アート (クレイクラブ アマン)	11月2日(水) ～11月3日(木) 9:00～18:00	まなびすとルーム (マナビコーナー)	一 般 な し	108 人
	楽しい親子の筆文字アート (上野佐奈美)	11月3日(木) 10:00～11:30	まなびすとルーム (学習スペース)	小学生 保護者 10組	21 人
	似顔絵コーナー (石川県立金沢辰巳丘高等学校)	11月3日(木) 13:00～16:00	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 な し	67 人
大 学 校 講 座 い し か わ 県 民	兼六ビデオ講座Ⅲ－①	11月2日(水) 14:00～16:00	第3会議室	一 般 60名	25 人
	* 緑陰講座in本多の森 「白山手取川 ジオパークって何だろう」 講師:北村 秀昭	11月2日(水) 14:00～15:40	県民大学校教室1	一 般 30名	8 人
	ふるさとふれあい講座 「木曾義仲の栄光と挫折」	11月 2日(水) 13:30～15:00	第1会議室	一 般 130名	142 人
	ファミリーカレッジin本多の森 「青島先生といっしょに、うたって、きいて」 講師:青島 広志(作曲家・マルチアーティスト)	11月3日(木) 13:30～15:00	第2会議室	小学生 保護者 100組	211 人
デ 映 オ 画 上 会 映 ・ 会 ビ	本多の森映画会 「もういちど」	11月3日(木) 10:00～11:40	第3会議室	一 般 80名	35 人
	本多の森映画会 「ローマの休日」	11月3日(木) 14:00～16:00	第3会議室	一 般 80名	42 人
	SVCビデオ作品上映会 (生涯学習センタービデオクラブ)	11月3日(木) 10:30～12:00	県民大学校教室1	一 般 20名	22 人
11月2日(水)～3日(木)の入館者数（上記以外の利用者を含む）					2,843 人

事業の評価（成果・課題）

平成27年度は週末3日間の開催であったが、平成28年度は祝日を含む2日間の開催としたため、1階ロビーの参加者は2,977人から1,974人に減少した。このことにより期間中の入館者数も3,733人から2,843人へと24%減少した。(2日間の入館者数としては平成26年度の2,091人を上回る。)

なお、プレイベントについては、実施期間を14日間から7日間に短縮したが、県民大学校実施機関や近隣公民館等との連携が一層深まったことにより、隣接するホールのイベントによる相乗効果もあって、参加人数は2,224人から4,178人へと88%増加した。

生涯学習センターの取組みについて広く県民の理解が得られるよう、今後も事業を継続していきたい。

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣旨

県内の社会教育生涯学習・学校教育等の関係者が集い「地域と連携・協働するふるさと教育」をテーマに、実践を交流し、課題と展望を共有することで、『第2期石川の教育振興基本計画』がめざす、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする。

主催・共催

金沢大学社会教育研究振興会、石川県教育委員会

後援

金沢大学地域連携推進センター

協力

石川県社会教育協会

対象・定員

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、学校教育関係者、PTA関係者等

会場

石川県行政庁舎 1105会議室

参加人数

131人

日程

日時	内容	講師等
1月26日(木) 13:15~13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 篠原 恵美子
13:20~14:20	基調講演 「人生を豊かに生きるヒントを探る ～宮崎県綾町から学んだ地域力～」	東京大学大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻 客員共同研究員 岩佐 礼子
14:30~16:25	パネルディスカッション 「地域と連携・協働し、 郷土愛を育むには」	コーディネーター 金沢大学地域連携推進センター准教授 蜂屋 大八 パネリスト 石川県立輪島高等学校教頭 平野 活彦 鳥越ワカモノの会代表 田原 康成 顧問 村 清司郎 野々市市太平寺町会長 中島 章
16:25~16:30	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

基調講演では、宮崎県綾町において、樹林の保護など多種多様な「人と自然」の繋がりが地域の発展に欠かせないこと、さらに、行政・議会・公民館が対等の立場で連携する自治公民館制度での「人と人」の繋がりで地域づくりがなされていることを学習できた。また、相互扶助的な多数の講集団があり、交流の場となるだけでなく、地域のネットワークづくりに重要なものとなっている。加えて、この講集団と自治公民館が支え合うプロセスこそが「ふるさと教育」に不可欠であることも学べた。

パネルディスカッションでは、学校教育・若者の会・町会それぞれの立場で優れた取組を進めている方々から報告がなされた。高等学校総合学科でのグローバルな人材育成の取組は、朝市でのオリジナル商品開発・販売など、地域の特性を活かした活動が、生徒自身の地元愛を育むことを示した。ワカモノの会は、過疎化する地元を「なんとかしなくては」との思いで、食イベントなどの活動に取り組んだ結果、多数のマスコミに取り上げられるほど注目を集めたことに、多くの参加者が感心したと思われる。能登出身者が望んだ奉燈祭を受け入れた町会には、昔、困窮した地元を救ってくれた隣村のご恩に対する感謝の気持ちが地域の心根としてあることは興味深いものであった。また、行事自体が目的でなく、参加者の輪の広がり地域力を高めることは講演と通ずるものがあつた。

全体をとおして、講演会では先進的な事例紹介で「ふるさと教育」の理解が深まり、各発表においては、高校の実践学習、地域が活性化するための若者の情熱、県外出身者である町会長の新鮮な感覚が述べられ、重層的な意見、見解が発表されたことで、趣旨である「石川の教育振興基本計画」が目指す、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で教育力の向上を図る良い契機となったと考えられる。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

国は地方創生に向けた総合戦略に生涯学習の中で「ふるさと」に対する誇りを高める施策の推進を掲げている。地域住民が社会教育を通じふるさとを学び、その学びを発揮できる場を設けることは、住民一人一人の人生を豊かにするのみならず、地域への愛着と絆を育み、その土地に活力を生み出す原動力となる。

本研修では、「学びの循環を地域につくる」をテーマとし、地域住民の学びとその活躍の場づくりの在り方について理解を深めると共に、代表的なアクティブラーニングの手法であるワールドカフェを体験し、生涯学習・社会教育職員として求められる資質を高める。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対 象

市町生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員、各市町の社会教育委員

会 場

石川県行政庁舎 1102会議室

参加者数

43人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員13人、公民館職員基礎研修20人、専門研修10名

期 日

平成28年6月16日(木) 10:00～16:00

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会事務局生涯学習課 課長 篠原 恵美子
10:05～11:20	基調講演 「学びの循環を地域につくる ～地域の課題と資源を活かした事例に学ぶ～」	静岡大学イノベーション社会連携推進 機構 教授 阿部 耕也
11:25～11:45	講義 「公民館が地域を輝かせる」	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重
13:00～15:00	研究協議 グループ討議「公民館の底力」 *ワールドカフェ方式	
15:05～15:45	公民館事業の模擬立案	
15:45～15:55	全体講評	静岡大学イノベーション社会連携推進 機構 教授 阿部 耕也
15:55～16:00	閉会挨拶	石川県教育委員会事務局生涯学習課 課長補佐 網本 弘志

事業の評価(成果・課題)

基調講演は、阿部耕也静岡大学教授が、静岡県内における地域の課題と資源を活かした事例を中心に特色ある取り組みを紹介した。基調講演の内容を受けて行われた講義では、浅野秀重金沢大学教授が地域の課題や資源を見出し、住民と共に魅力ある地域づくりを進める公民館の役割の重要性を説き、「攻めの社会教育」を仕掛けるべきだと訴えた。研究協議では、アクティブラーニングの手法の一つである「ワールドカフェ」形式によるグループ討議が行われた。参加者は10班に別れ、「公民館の底力」をテーマにリラックスした雰囲気の中で積極的な意見交換を行った。

参加者を対象にしたアンケートでは、基調講演～全体講評までの研修すべてについて、80%以上が「非常に・ある程度有意義」であったと回答した。研修の趣旨の達成および、前年度の課題であった「公民館職員の学びの欲求に応えるテーマ・講演内容・講師の選定」についてある程度改善できたとみられる。参加者からの要望には「今後も他の公民館との交流の場がほしい」との声があり、今後も地域の生涯学習・社会教育の担い手のネットワークづくりが求められる。

(3) 社会教育主事等フォローアップ研修

趣 旨

地域の生涯学習・社会教育の実現の推進において中核的な役割を果たす社会教育主事等の専門知識、技術、実践力の向上を図る。時代の流れに応じた企画力、発信力の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会・石川県教育委員会

共 催

金沢大学地域連携推進センター

対象・定員

社会教育主事、社会教育主事講習修了者、各市町の生涯学習・社会教育行政担当者、生涯学習・社会教育施設等に勤務している者

会 場

石川県ふれあい昆虫館 (18日 13:00～14:30)

石川県立白山青年の家 (18日 14:50～22:00 ・ 19日 8:30～11:35)

参加人数

44人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
11月18日(金) 13:00～14:30	施設見学 石川県ふれあい昆虫館 「バックヤード・ツアー」	石川県ふれあい昆虫館 館長 坂井 芳子 石川県ふれあい昆虫館 企画展示係長 石川 卓弥
14:50～15:15	開会・オリエンテーション	金沢大学 地域連携推進センター准教授 蜂屋 大八
15:20～16:20	講義「社会教育の動向」	金沢大学 地域連携推進センター教授 浅野 秀重
16:30～17:55	講義「行列ができる講座・イベントの作り方」	NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田 静香
18:00～19:30	夕食・入浴	
20:00～21:00	グループ討議「社会教育成功の秘訣」	
21:00～22:00	情報交換会	

11月19日(土)	8:30～10:00	講義「行列ができるチラシづくり①」	NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田 静香
	10:15～11:30	実習「行列ができるチラシづくり②」	NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田 静香
	11:30～11:35	閉会挨拶	金沢大学 地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

施設見学「石川県ふれあい昆虫館バックヤードツアー」では、職員から詳しい説明や普段見られないバックヤードの見学もあり、好評であった。同施設は、平成10年に開業して以来、来館者数増加の取り組みは、県内外から注目されており、「普段見られない昆虫館の裏側が見れてよかった。」(複数)、「解説のおかげで親しみやすさやリピーターを増やす工夫がわかった。」「企画には、ただの熱意があればよいというわけではなく、アイデア・工夫も必要であると教えていただいた。」などの感想が寄せられた。

講義「社会教育の動向」では、近年の社会教育の動向について学ぶことができ、参加者の多くは、公民館等の社会教育施設で働いている方々で、大いに参考になる内容であった。「浅野先生の講義を聴き、若返りました。」「浅野先生の楽しい語り口で、楽しんで話を聞くことができました。」「社会教育の重要性について再確認できた。」などの感想が寄せられた。

講義「行列ができる講座・イベントの作り方」では、従来、集客が難しいといわれている男女共同参画施設において驚異的な集客を行い注目されているNPO法人男女共同参画おおた理事長の坂田静香氏を講師に招いて講義が行われた。具体的事例を示しながら分かりやすい講義で、大変好評であったが、アンケート結果を見ても「有意義であった。」と答えたのは79.3%となっている。「具体的な講義がわかりやすかった。」(複数)、「とても参考になった。」(複数)、「チラシ・企画について改めて考えさせられました。」などの感想が寄せられた。とても参考になる講座なので、次年度以降にも講師として招きたい。

グループ討議「社会教育成功の秘訣」では、①活動紹介、②成功体験披露(もしくは、やってみたいこと)、③現在、直面している課題などについて、グループごとに話し合われた。お互いに他市町の状況等を知ることができ、大いに参考になった。

講義「行列ができるチラシづくり①」では、坂田氏より魅力的なチラシづくりについて講義が行われ、新たな視点でチラシの作成について考えることができた。休憩後、引き続き、坂田氏の指導の下、実習「行列ができるチラシづくり②」が行われ、各グループに分かれチラシづくりを行った。この講義、実習は大変好評であり、「参考になった。」と87%が答えており、「具体的な講義がわかりやすかった。」(複数)。「とても参考になった。」(複数)、「チラシ・企画について改めて考えさせられました。」「キャッチコピーの作り方が参考になりました。」「自分は言い訳していたと反省した。」「目標を最初にしっかり練ることの大切さを再認識した。」(複数)などの感想が寄せられた。

実施時期については、「今年度と同時期」92.6%が答えている。ただし、アンケートには今回参加できなかった人の声は反映されていないので、市町の行事などの事情などを考慮して検討したい。開催場所については、能登地区での開催の希望が多く寄せられ、隔年で能登地区での開催を検討したい。

(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県立生涯学習センター、奥能登社会教育振興会（奥能登会場）

対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

日 程

教 育 事 務 所	参加人数	日 時	内 容 等
中能登	5 人	11月10日(木) 13:30～16:00	テレビ会議シンポジウム 「公民館連携の可能性を探る～ 地域間交流を事例として～」 趣 旨 各地域の核として住民の学びを支える公民館が事例発表や成果の共有を通じ、今後の公民館の連携、交流の在り方を考える機会とする。このことにより、互いの特色や個性を生かして交流が生まれ、各館の取り組みの学びあいや、協力体制の形成につながることを期待する。また、金沢大学が有する遠隔地配信システムを利用した奥能登、金沢、小松をつないだ交流形式の会議を体験することで、遠隔地交流における I C T機器活用の可能性を考えるきっかけとする。 ・金沢会場（金沢・中能登管内） 金沢大学地域連携推進センター 2階講義室 ・珠洲会場 金沢大学珠洲サテライト（奥能登管内） すず市民交流センター 3階第5会議室 ・小松会場 金沢大学小松サテライト（小松管内） こまつビジネス創造プラザ セミナールーム ■基調講演（13:40～14:10 金沢会場から） 演 題「子どもたちの体験活動を豊かに」 講 師 国立能登青少年交流の家 主任企画指導専門職 北出 宏之 ■シンポジウム（14:15～15:15） 「公民館地域間交流事業」参加公民館による体験発表 ① 志 賀 町 富 来 公 民 館 館 長 松村 俊昭 ② 白山市教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 東 雅 宏 ③ 穴 水 町 教 育 委 員 会 事 務 局 次 長 宮本 浩司 ④ 加 賀 市 立 東 谷 口 公 民 館 館 長 堂新橋 孝 ⑤ 金 沢 市 新 神 田 校 下 少 年 連 盟 委 員 長 石黒 佳恵 七 尾 市 熊 木 公 民 館 主 事 山下 佳子 *発表会場 ①②⑤金沢会場、③珠洲会場、④小松会場 ■意見交換及び質疑（15:20～16:00）
金 沢	14 人		
小 松	25 人		
奥能登	28 人		
合 計	72 人		

事業の評価(成果・課題)

前年度までは4管内ごとに実施していたが、研修形態を大きく変え、テレビ会議システムを利用した合同開催としたこともあり、4管内合計参加者数は前年度の半数以下となった。しかし、アンケートでは、当システムを利用した研修についての評価は高く、今後も継続を希望する参加者がほとんどであり、次年度に向けては、適切な開催日の設定、早期の周知で参加者の増加を図る必要がある。

(5) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月21日(火) 15:00~16:30	「ビギナーから一步踏み出す ビデオ講座」	金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文	31人

事業の評価(成果・課題)

「プロが撮った映像と映像初心者が撮ったものはどこが違うか」という視点から、ビデオ初心者から抜け出す「コツ」を学び、学校や地域の魅力の紹介映像、伝統や日常の記録映像などの制作技術向上を図る講座を開催し、制作者のレベルアップの一助とした。

技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(6) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般県民 ・ 1期 16名 ・ 2期 16名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	6月25日(土)・7月2日(土)・ 9日(土)・16日(土)・23日(土) 10:00~16:00 (7/9のみ 10:00~12:00)	ビデオ撮影・編集に関する 講義、ビデオ編集実習	生涯学習センタービデオ クラブ(SVC)会員	75人
2	9月24(土)・10月1日(土)・ 8日(土)・15日(土)・22(土) 10:30~16:15 (10/8のみ 10:30~12:15)	”	”	52人
合 計				127人

事業の評価(成果・課題)

今年度は受講者層を広くとり実習時間の確保を図るため、土曜の午前・午後開催(各期1回のみ午前開催)とし、1期・2期とも撮影から編集まで一貫して学ぶ内容で実施した。結果、若年層の受講者も見られるようになり、受講者の幅が拡大した。今後も、幅広い年代の方が受講しやすくなるよう工夫し受講者層を広げ、映像制作文化の発展に寄与したい。

(7)ICT活用講座

趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを目指す。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

第1回： 公民館、図書館、各種団体職員等 8名

第2回： いしかわビデオ作品コンクール受賞者、一般県民 50名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	11月15日(火) 9:30～16:30	学び直してスキルアップ！Microsoft Word 2013 使いこなし講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	8人
2	3月10日(金) 13:30～14:30	記念講演 「もっと伝わるビデオの撮り方・作り方」	北陸朝日放送(株) 報道制作局 中川 紘	42人

事業の評価(成果・課題)

第1回は、Officeソフトの活用講座を実施した。現在、多くの生涯学習施設で使われていると思われるマイクロソフトオフィスについて、そのワープロソフトであるWord2013を用い、インストラクターによる指導での「学び直し」行うことにより、自己流では習得の難しい正しく効率的な使用方法や有用な機能を学び、広報等の文書作成能力の向上を目指すことを目的とし、県内各地の公民館職員等を対象として講習会を行なった。

参加者からは、改めて基礎から学ぶことにより、自己流ではわからなかった使い方を知ることができた、などと好評であった。

今後はより多くの方に参加していただけるよう実施時期と期間の検討を行うとともに、学ぶ機会を提供し、実際の活動に取り入れられるよう基本的な技術と知識の習得を目指していきたい。

第2回は、平成28年度（第47回）いしかわビデオ作品コンクールの記念講演として実施した。コンクール受賞者のほかビデオ愛好家の方々が熱心に聴講された。講話は、実際の番組制作を題材とし、映像による比較を取り入れたわかりやすいもので、ビデオ作品制作に大変参考となるものであった。

(8) 平成28年度(第47回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催/共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成28年10月31日(月)～平成29年2月3日(金)

応募規定及び表彰

応募規定 ①教材部門 ・学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
・学校紹介ビデオ

②一般部門 ・①以外のビデオ作品

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会賞もしくは石川県公民館連合会賞を、授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成29年2月16日(木) 13:30～16:30

表彰式 平成29年3月10日(金) 15:00～16:30

審 査 員

棒田 邦夫 (金沢学院大学教授) <審査委員長>

浅川理佳子 (県教育委員会生涯学習課)

近藤 繁彦 (石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

①教材部門・・・5点 ②一般部門・・・10点 計15点

審査結果及び表彰者氏名

①教材部門	②一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 五郎島金時作りの一年 久村 勉	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 三角 四角 丸 小林 陽治
優秀賞 及び 石川県社会教育協会賞 県工2016 石川県立工業高等学校	優秀賞 及び 石川県公民館連合会賞 残したい門前町 井波 小屋 忠男
奨励賞 関心あるかな?自分の歯! 小松市立松陽中学校生徒会保健委員会 生徒会全校企画「美川中の象徴となる 校歌を元気よく歌おう」 白山市立美川中学校 鳥越城跡散策 藤平田 友市	奨励賞 錦秋の華やぎ 森本 重雄 風呂敷あれこれ 小林 恵子 戦場に架ける橋 泰麺鉄道 西上 章

事業の評価(成果・課題)

平成28年度は、10月末から翌年2月3日までの募集期間とし、上記点数の応募があった。

今後も、より多くの県民からご応募いただけるよう、各学校・視聴覚教育研究団体への早期の働きかけなどにより、コンクールの実施・作品募集の周知を図ることや、「県民映像カレッジ」との連携などを検討したい。

また、平成27年度及び28年度の受賞作品のうち、作者の了解が得られた作品について、広く県民に観ていただけるよう、「あいあいネット」上で一般公開を開始した。

(9) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第13号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月27日(月) 第13号	「ビギナーから一步踏み出す ビデオ講座」	金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文

(10) 自主サークル

サークル名	活 動 内 容
生涯学習センタービデオクラブ (SVC)	毎月第2土曜日(13:30~16:30)月例会(作品鑑賞等)

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) ふるさとふれあい能登校講座

趣 旨

石川の歴史・文化・自然・産業等について学び、郷土に対する理解を深め、誇りと愛着をもつ。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月9日(木) 13:30～15:30	「能登寺院の金沢出開帳」	元金沢市立玉川図書館近世史料館館長 宇佐美 孝	28人
2	6月20日(月) 13:30～15:30	「能登文化の拡がり」	加賀民俗の会会員 西山 郷史	21人
3	7月13日(水) 13:30～15:30	「利家と末森城の戦い」	元宝達志水町教育長 田畑 武正	29人
4	8月2日(火) 13:30～15:30	「加賀藩主前田斉泰公の能登巡見」	能登半島広域観光協会相談役 藤平 朝雄	26人
5	9月6日(火) 13:30～15:30	「奥能登の地域振興」	奥能登総合事務所企画振興課長 松 茂之	11人
6	10月25日(火) 13:30～15:30	「白山の歴史と楽しみ方」	石川県白山自然保護センター専門研究員 平松 新一	11人
合 計				126人

事業の評価(成果・課題)

能登の歴史・文化に興味・関心がある受講生が多いことから、参加者からは好評であった。次年度も、ニーズにあった内容・講師の選定に努めたい。一方で広報活動に一層工夫する必要がある。

(2) 能登文化講座

趣 旨

能登の地域住民が、著名な講師による高い専門的講話を通し、より広い人生体験にふれ、豊かに生活を営むと共に、さらなる生涯学習への意欲喚起に活かす。併せて、「のと里山空港」の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月23日(土) 13:30～15:00	「出会いの人生から学んだこと」	弁護士 菊地 幸夫	220人

事業の評価(成果・課題)

近年、テレビ等で著名な講師であったので、参加者は興味深く耳を傾けていた。分かりやすい内容で、弁護士の仕事内容がよく分かったという声があったが、参加者の年齢層が高いことから、今後の人生に参考になる講演内容や楽しい内容を求めた要望も多かった。この講座は、当分室のメインでもあるので、幅広い年齢層に合う講師の選定に努めたい。

(3) 能登の歴史探訪講座

趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文物を訪ねて、ふるさとへの理解を深める。

対象・定員

一般 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	10月12日(水) 13:30~15:30	幕府が求めた能登の開港場	元生涯学習センター能登分室職員 南 龍保	23人
2	10月19日(水) 13:30~15:30	穴水中居の歴史を訪ねる	穴水町ふるさと案内人の会会員	22人
3	12月1日(木) 13:30~15:30	舳倉島の歴史あれこれ	元生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	24人
合 計				69人

事業の評価(成果・課題)

元分室職員ということで受講生との信頼関係もあり、和やかな雰囲気を受講風景であった。講座内容が能登に関する身近なものなので、とても好評であり、現地講座では、改めて地元の歴史・文化にふれることが出来、再発見につながったようだ。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

古文書解読の知識と技能を修得し、地域の新たな歴史や文化などを発見する。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	9月2日(金) 13:30~15:30	古文書の解読	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	30人
2	9月9日(金) 13:30~15:30	〃	門前郷土史研究会会長 大倉 克男	31人
3	9月16日(金) 13:30~15:30	〃	〃	31人
4	9月30日(金) 13:30~15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	33人
合 計				125人

事業の評価(成果・課題)

昨年来、継続して受講している方が多く、大変熱心で知識も豊富な受講生が多かった。講師の方も細やかな準備をしてくださり、学習の場としてふさわしい雰囲気の中で実施された。継続実施の要望が高く、次年度も是非開設したい講座の一つである。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

成形・釉薬がけ・焼成などの作陶技術を習得し、陶芸作品づくりを楽しむ。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月14日(火) 13:30~16:30	成形	珠洲焼作家 伏見窯 坂本 一郎	16人
2	6月15日(水) 13:30~16:30	〃	〃	15人
3	6月28日(火) 13:30~16:30	素焼	〃	16人
4	7月 5日(火) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	16人
5	7月12日(火) 13:30~16:30	鑑賞会	〃	16人
合 計				79人

事業の評価(成果・課題)

以前より継続受講している方が多く、技術・創作意欲とも高い。本講座を通して、顔見知りになった方も多くいて、受講者同士の学び合いも技術レベルの向上につながっているようだ。当分室で最も人気のある講座である。

(6) あすなろ悠々塾in能登

趣 旨

生涯学習活動等を通して得られた研究成果を活かして、講師自らが企画・運営する。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月26日(木) 13:30~15:00	「認知症あっちいけ！講座」	畠 紀子	12人
2	6月29日(水) 13:30~15:00	「青木新兵衛芳齋～加賀藩士槍の名手～」	谷口 和男	21人
3	7月19日(火) 13:30~15:00	「健康寿命を延ばそう ～人間の生命力と健康の法則～」	木下 幸子	21人
4	9月13日(火) 13:30~15:00	「加賀前田家三代 前田利常の偉業」	後藤 朗	16人
5	10月 6日(木) 13:30~15:00	「草木染めの文化史～青～」	登美 聰	16人
6	11月10日(木) 13:30~15:00	「私と骨董」	杉森 学	17人
合 計				103人

事業の評価(成果・課題)

自主研究発表の場でもあることから、話し方・内容等に個性があり、受講者の評価も様々であった。ニーズにあった講師や内容の選定・発掘が難しい講座の一つである。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

秀作映画の上映をとおして、我が国の美しい風土と精神を鑑賞する。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月31日(水) 13:30～15:30	「おくりびと」	16人
2	9月21日(水) 13:30～15:30	「裸の大將放浪記」	10人
3	10月21日(金) 13:30～15:30	「東京物語」	11人
4	11月15日(火) 13:30～15:30	「植村直己物語」	10人
合 計			47人

事業の評価(成果・課題)

今年度は比較的新しいものと古いものを交せて上映した。参加者の中には感動したという声も多く、映画館のない能都地区ではシニア世代にとって映画鑑賞の良い機会ともなっている。今後も広報に努めるとともに秀作を選んで上映したい。

(8) ふるさと文化探究講座

趣 旨

DVD映像をとおしてふるさと石川の歴史・文化・自然・偉人等について学習し、関連講座により郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月7日(火) 13:30～15:30	①三谷吾一～石川の匠たち 日本芸術院会員～ ②金沢御堂陥落～一向宗の最期 本願寺門徒 一向一揆～ ③村井長頼～忠臣の荒子衆 加賀八家の祖～	13人
2	7月7日(木) 13:30～15:30	①珠姫・豪姫～百万石の華麗なる結婚～ ②能登・外浦が奏でる文学～鳴き砂の浜 琴ヶ浜 能登金剛～ ③義経 弁慶～かがのと義経紀行 窓岩 須々神社 蟬折の笛～	14人
3	8月26日(金) 13:30～15:30	①豪商・塩屋家～所口の賢人 七尾御用商人 いろこ・ナマコ～ ②里山ってなに?～春蘭の里～ ③前田吉徳 治脩～苦悩の藩主たち 加賀騒動～	13人
4	9月28日(水) 13:30～15:30	①杉森久英～人の魅力 天才と狂人の間～ ②庭師の誇り～雪吊りの技～ ③能登の旅～千枚田 時国家 妙成寺 御陣乗太鼓 あばれまつり～	10人
5	10月18日(火) 13:30～15:30	①ふるさとの民話～加賀・能登の伝承 蓮如伝説～ ②魚住為楽～石川の匠たち 人間国宝～ ③あんころ人情物語～創業260年を越える老舗・円八～	10人
6	11月8日(火) 13:30～15:30	①関沢明清～近代水産業の父～ ②空から見た石川～能登～ ③真脇・寺家遺跡～古代・海との出会い～	8人
7	11月22日(火) 13:30～15:30	①長連弘～黒羽織党党首～ ②ふるさとの食文化～祭りのご馳走 能登編～ ③気多大社～大己貴命 大国主命～	12人
合 計			80人

事業の評価(成果・課題)

地域に関係する人物、歴史、文化、自然などのDVDを視聴した。今年度は現代もののDVDについて制作年度のやや古いものも選んだので、シニアの方には懐かしく感じられたと思う。今後はさらに郷土への理解が深まるよう新しいものも取り入れたい。

(9) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向け名作アニメの上映をとおして、子どもたちの豊かな情操を育む。

対象・定員

子ども・保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月31日(日) 13:30~15:30	「ドラえもん のび太と翼の勇者たち」	74人
2	8月6日(土) 13:30~15:30	「ドラえもん のび太とロボット王国」	65人
3	8月21日(日) 13:30~15:30	「となりのトトロ」	22人
合 計			161人

事業の評価(成果・課題)

夏休み前半は定員を上回る申し込み・参加があったが、後半になると各種行事等の関係もあり参加者が減ったように感じた。子どもたちは馴染み深いアニメ映画を楽しんでいた。次年度の開催日は行事等も考慮に入れながら、魅力ある作品を提供したい。

(10) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を造り、釉薬をかけて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験をとおして、ものづくりの喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月24日(日) 13:30~16:30	成形・素焼き	石川県立飯田高等学校 教諭 井上 正浩	23人
2	8月11日(木・祝) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	22人
3	8月20日(土) 13:30~16:30	鑑 賞 会	〃	23人
合 計				68人

事業の評価(成果・課題)

大変人気のある講座で、受付開始から短期間で定員に達してしまった。講師は子どもたちの創作意欲を上手に引き出し、保護者の求めにも丁寧に対応していた。子どもたちの感想には「むずかしかったけど楽しかった」というものが多かった。

(11) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

身近な科学の実験・工作を行う中で、自然界の隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月27日(水) 13:30~15:30	身近な科学実験と工作① ～重さを楽しもう!～	元能登分室職員 坂尻 忠秀	14人
2	8月9日(火) 13:30~15:30	身近な科学実験と工作② ～空間を楽しもう!～	〃	21人
合 計				35人

事業の評価(成果・課題)

参加した子どもたちからは、身近にあるものを使って、おもしろいおもちゃを作ったことが楽しかったという感想が多かった。保護者からも、科学はとっつきにくいというイメージだったが講座はわかりやすかった。これをきっかけに子どもが理科好きになってくれれば嬉しいという感想があった。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) 男の料理教室

趣 旨

男性が自宅で簡単にできる一品料理を実際に作り、楽しく試食する実用的な講座。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般男性 12名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	6月25日(土) 10:00~13:00	初夏を食べよう！！	安原 弘子	11人

事業の評価(成果・課題)

調理前にレシピを配付して、講師から丁寧な説明を受けたので、料理への習熟に違いのある受講生にも、予定時間通りに仕上げることができた。受講生からは自宅で簡単にできると好評であった。

(2) 大人の料理教室

趣 旨

秋の食材を生かした手軽な料理作りを楽しみ、地域の食文化や健康食についての理解を深める講座。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 12名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理実習室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	10月15日(土) 10:00~13:00	秋の味覚たっぷり手軽なメニュー	地域活動栄養士 沖崎 美子	15人

事業の評価(成果・課題)

秋ナス、きのこ、里芋など旬を迎えた秋の食材を使い、楽しい雰囲気調理した。試食時に、講師から食材の特長や調理法、味付けの工夫についての考え方も教えてもらい、栄養面や健康面で大いに参考になった。

(3) サンドブラスト体験教室

趣 旨

のと里山空港マスコットキャラクター「スカイのっぴー」の月毎に替わる季節の図柄をガラスコップに彫刻し、物作りの喜びを実感し、併せて空港に親しむ。

主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般 各50名

会 場

のと里山空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	4月10日(日)	お花見のっぴー	80人
2	5月8日(日)	のっぴーと鯉のぼり	90人
3	6月12日(日)	のっぴーと雨宿り	60人
4	7月10日(日)	のっぴーと天の川	120人
5	8月14日(日)	のっぴーと海水浴	130人
6	9月11日(日)	お月見のっぴー	126人
7	10月9日(日)	のっぴー空の運動会	720人
8	11月13日(日)	のっぴーモミジ狩り	120人
9	12月11日(日)	のっぴーサンタ	64人
10	12月23日(金)	12ヶ月自由図柄	864人
11	1月8日(日)	のっぴーのお正月	90人
12	2月12日(日)	のっぴーと雪だるま	130人
13	3月12日(日)	のっぴーのひな祭り	138人
合 計			2,732人

※実施日は 毎月第2日曜日、12/23クリスマスイベント開催日。

時間帯は 10:00~12:00、13:00~15:00

事業の評価(成果・課題)

毎回定員を超える参加があり、家族揃っての参加も多い。また、旅行者の参加もみられた。のと里山空港の賑わい創出と活性化に寄与する重要な行事になっている。

3 能登分室利用状況

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数		26	29	51	53	75	75	54	62	55	34	40	44	40	612
		27	35	62	49	84	76	65	82	67	39	46	52	37	694
		28	36	69	60	66	71	67	115	76	44	39	50	44	737
人数		26	752	1,566	1,452	2,207	2,093	1,338	2,115	1,366	2,238	735	1,103	1,043	18,008
		27	848	1,704	1,106	2,008	1,883	1,353	3,372	1,697	2,439	876	1,424	827	19,537
		28	901	1,499	1,813	1,619	1,859	1,369	2,995	2,033	4,062	758	1,329	1,214	21,451
1日平均	件数	26	1.0	1.6	1.8	2.4	2.4	1.8	2.0	1.8	1.2	1.4	1.6	1.3	1.7
		27	1.2	2.0	1.6	2.7	2.5	2.2	2.6	2.2	1.4	1.6	1.9	1.2	1.9
		28	1.2	2.2	2.0	2.1	2.3	2.2	3.7	2.5	1.6	1.4	1.8	1.4	2.0
	人数	26	25.1	50.5	48.4	71.2	67.5	44.6	68.2	45.5	79.9	26.3	39.4	33.6	50.2
		27	28.3	55.0	36.9	64.8	60.7	45.1	108.8	56.6	87.1	31.3	50.9	26.7	54.4
		28	30.0	48.4	60.4	52.2	60.0	45.6	96.6	67.8	145.1	27.1	47.5	39.2	59.6

- ・ 平成15年5月6日開設。
- ・ 平成28年度の利用状況（開館日数 359日）
 - ・ 利用件数 737件 対前年比 6.2%増（平成27年度 694件）
 - ・ 利用人数 21,451人 対前年比 9.8%増（平成27年度 19,537人）

Ⅲ 調査研究レポート

「社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査」について

1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会及び同大学地域連携推進センターとともに、社会教育・生涯学習のよりよい推進を図るため、調査研究事業を実施している。金沢大学で実施している社会教育主事講習について、社会教育・生涯学習の核となるべき社会教育主事有資格者の意識や活動実態について調査研究を進めている。

2 概要

(1) テーマ

社会教育主事講習に対する社会教育主事有資格者の意識に係る調査

(2) 目的

社会教育主事講習での研修内容としての社会教育・生涯学習に係る理論、成人学習者の特性、学習プログラム等の企画立案、地域づくり・まちづくりに関する学習、様々な現代的な課題に関する学習などが、その後の職務等にどのように活かされたのかを把握することを目的とする。また、社会教育主事養成における社会教育主事講習の在り方についての意識を把握し、今後の社会教育主事講習の改革・改善に資することを目的とする。

(3) 調査対象

文部科学省（旧文部省）の委託をうけて金沢大学が実施している「金沢大学社会教育主事講習」を昭和59年度以降に受講し、社会教育主事又は公民館等の社会教育施設等で社会教育・生涯学習振興等の事業に従事している者、もしくは従事した経験を有する者。

(4) 調査方法と研究計画

「金沢大学社会教育主事講習」を受講した社会教育主事資格取得者一覧表から職員の勤務地等を調査し、郵送等によるアンケート調査を実施する。（平成28年度）

上記の調査の対象者の中から、協力いただける方に、ケーススタディ（事例研究）を実施する。（平成28～29年度）

(5) 調査期間

調査期間を平成27～29年度の3年間とする。

3 おわりに

近年、社会教育主事は、各地域の社会教育・生涯学習のコーディネーター、地域コミュニティの核、学校・家庭・地域の連携協力のパイプ役の3つの役割についてその重要性が一層増している。「社会教育主事講習」を受けた社会教育主事有資格者が、その講習の成果を、学校や地域・行政機関など様々な場所でどのように活かしていったか、その意識や活動実態を把握し、今後の社会教育主事講習の改革・改善のための一助となるよう計画を進めていきたい。また、将来、社会教育・生涯学習の世界で一層活躍することのできる人材、地域における教育活動全般を総合的に推進することのできる人材を育成していける社会教育主事講習の在り方、社会教育主事の新たな役割等について提言していきたい。

平成 2 8 年度
事業報告書

平成 2 9 年 5 月 2 6 日 発行
編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用
